

かわさき市政だより 幸区版 発行：幸区役所 〒212-8570 幸区戸手本町 1-11-1  
 ☎ 556-6666 (総合案内) 幸区統計データ (令和2年9月1日時点)  
 人口 17万1,282人 2021(令和3)年 2月1日発行  
 世帯数 8万2,355世帯

# 香り継がれる梅

御幸公園には24種208本もの梅が植えられており、2月から見頃となります。いつでも公園に入り鑑賞することができますので、あなたの好きな梅を見つけてみてはいかがでしょうか。  
 問 区役所企画課 ☎556-6612 FAX555-3130

満開の時期には通常よりも近くで梅の鑑賞ができる期間を設けます。

## 2月に御幸公園で開花する品種(一部)

	2月		
	月上旬	中旬	下旬
呉羽枝垂れ	🌸	→	→
鶯宿	🌸	→	→
玉牡丹	🌸	→	→
素白台閣	🌸	→	→
鹿児島紅	🌸		
紅加賀		🌸	→
竜峡小梅		🌸	→
甲州最小		🌸	→
紅千鳥			🌸
南高			🌸
見鷺			🌸
白加賀			🌸
梅郷			🌸

※気候などにより変動する可能性があります。  
 🌸 = 濃紅色、紅色    🌸 = 薄紅色    🌸 = 白色



24種  
208本

### 御幸公園之図

### アクセス

市営バス「川73系統」または「川74系統」、東急バス「反01系統」で、「御幸公園前」バス停で下車※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

## 語り継がれる梅の歩み

### ① 1661年頃～

#### ① 多摩川の洪水と梅の生産

現在の御幸公園がある小向村では多摩川の洪水による影響を受けていたため、多少の浸水に耐えられる梅が換金作物として植えられました。

### ② 1880年～

#### ② 梅の名所と明治天皇の行幸

朝野新聞の社長である成島柳北が「小向村探梅ノ記」を連載したことがきっかけとなり、小向村は梅の名所として有名になりました。その後、1884年に明治天皇が観梅のために行幸されました。



「明治天皇小向梅林御幸之図」  
提供：御幸小学校(作：岡田青慶氏 寄贈：内田藤七氏)

### ③ 1904年頃～

#### ③ 梅林の縮小と三溪園への移植

小向村の梅林は洪水や老木化により、縮小を余儀なくされました。残った梅の木も伐採予定でしたが、それを憂いた原三溪により、横浜本牧の三溪園に移植されました。

### ④ 2015年～

#### ④ 植樹による梅林の復活

区では地域の歴史を継承し、梅林の整備により梅の名所としての梅林の復活による区の魅力向上を区民との協働・連携により進めています。

### ⑤ 2021年2月

#### ⑤ 復活に向けた新たな挑戦

100年以上前に小向村から三溪園に移植され、今もなお、香り継がれる梅の木を、「接ぎ木」技術により、御幸公園へ里帰りさせる取り組みに初めて挑戦します。  
 ※「接ぎ木」とは、2つ以上の植物を合着させ1つの植物にする技術で、成育する植物は、接ぎ穂(枝)の性質などを受け継ぎます。

### ⑥ 2022年(区制50周年) ⑦ 2024年(市制100周年)

#### ⑥ ⑦ 魅力ある地域資源

梅の名所としての梅林の復活と  
市民の憩い・集いの場へ



うめかおる写真展作品募集

あなたが撮った梅に関するすてきな写真を募集しています。



詳細は  
区HPから

想い継がれる  
梅の帰郷

# 講演会 コロナ禍だからこそ、考えよう! ～まちづくりのために今、住民が、専門職が、企業ができること～

コロナ禍で外出や移動を自粛し、接触を避ける生活が続いている状況において、地域を暮らしやすく、楽しいものにしていくためのヒントをお届けします。オンラインの他、来場参加も可能で、どなたでも参加できます。後日、YouTubeなどで公開予定。



申し込みはこちらから

**日時** 3月8日(月)10時～12時  
**会場** 新川崎タウンカフェ(鹿島田 1-1-5パークタワー新川崎102) まちのおと(さいわいソーシャルデザインセンター)併設  
**共催** 幸区地域福祉計画推進会議、幸区ご近所支え愛事業推進会議、幸区役所

参加方法	定員	申込期間	申し込み方法
オンライン	なし	2月1日～2月26日 [事前申込制]	区HP、FAX、直接
会場	10名	2月15日～2月26日 [先着順]	

## 第1部

地域住民、専門職、地元企業が連携してつくるネットワークの事例などについてお話しいたします。

### 講師

澤登久雄氏(社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長)=写真



## 第2部

地域で活動する4人に活動事例をふまえてお話しいたします。

### ファシリテーター

齋藤保氏(株式会社イータウン代表取締役、まちのおと(さいわいソーシャルデザインセンター)コーディネーター)

申問 区役所地域ケア推進課 ☎556-6730 FAX556-6659



**日時** 3月18日(木)12時5分～12時35分  
**場所** 日吉合同庁舎第2・3会議室  
**出演** Oriental-Occident(オリエンタルオクシデント)  
**演奏** 笙・オーボエ  
**定員** 30人(応募者多数の場合、抽選。区内在住者優先)



申問 2月20日(消印有効)までに往復ハガキ(1通で1人まで)に氏名(ふりがな)・住所・電話番号・車いすなどを利用する場合はその旨を記入し、郵送か区HPで〒212-8570 幸区戸手本町1-11-1 幸区役所地域振興課 ☎556-6606 FAX555-3130 [抽選]  
※車いすなどの介助者、子ども連れ(ひざ上鑑賞)は1通の往復ハガキ、または同一の申し込みフォームで申し込み可。内容に不備があった場合は申し込み無効となります

## さいわいエコツアー

区役所内にある環境設備などの見学や家庭でできるエコについて学ぶイベントです。

**日時** 3月13日(出)①10時～12時②13時～15時  
**場所** 区役所  
**定員** 小学生(3年生以上)とその保護者、各回10組



申問 2月28日までに区HPで区役所企画課 ☎556-6612 FAX555-3130 [抽選]



## おでかけ“ぽかぽか”出張青空子育て広場

乳幼児と保護者が遊びながら交流できる場です。いずれも火曜10時～13時。雨天中止

日付	場所	
2月16日	南加瀬けやき公園 (南加瀬4-35-4)	戸手第1公園 (戸手本町1-76-1)
3月2日		
3月9日	さいわいふるさと公園 (新川崎7)	小向第7公園 (小向西町1-65)



問 区役所地域ケア推進課 ☎556-6730 FAX556-6659

## 3年度提案型協働推進事業

地域の課題を解決したり、魅力を高めたりするための取り組みを募集します。提案のあった取り組みは審査・決定後、事業として提案団体に実施を委託します。

**委託費** 1事業当たり50万円以内(税込み)

**対象** 区内で事業を実施できる団体(市民活動団体や企業など)

申 2月26日(必着)までに申込用紙を直接か郵送で。[選考]。※申込用紙は区役所などで配布中。区HPからもダウンロードできます。

問 区役所企画課 ☎556-6612 FAX555-3130

市政だより区版11月号で2年度の取り組みを紹介しています



幸区 提案型協働推進事業 検索

## 区のお知らせ 掲示板

申し込み方法は市版5面参照

※講座などによっては区内在住の人が優先となる場合があります

## 区役所地域支援課

問 ☎556-6729 FAX555-1336

## 幸区認知症サポーター養成講座

柴田範子氏(NPO法人楽理事長)を講師に招き、認知症について正しく知り、認知症の人や家族を支える手立てについて学びます。受講した人には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」をお渡しします。協力: さいわい健康福祉プラザ(老人福祉センター) ☎3月4日(木)13時半～15時 ☎さいわい健康福祉プラザ3階機能回復訓練室A・B ☎20人 申 2月15日から直接か電話で。[先着順]

## 健康寿命サポートフェア

日頃の健康維持のためにセルフケアを学びませんか。健康講話と鍼灸によるセルフケアの実技を行います。☎3月6日(出)9時半～11時半 ☎日吉分館第2会議室 ☎区内在住の50歳以上で初めて参加する、20人 申 2月15日から直接か電話で。[先着順]

## 幸防火協会

問 事務局: 幸消防署予防課内 ☎511-0119 FAX544-0119

## 老朽化消火器の回収

春の火災予防運動(3月1日～7日)の一環として、幸防火協会が老朽化した消火器の回収と新規販売を行います。荒天中止。☎3月7日(日)10時～12時 ☎区役所敷地内(幸スポーツセンター側屋外) ☎1本あたり1,000円

地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) **健診案内** 問 区役所地域支援課 ☎556-6648 FAX555-1336

健診名	日程	対象	受付時間	内容	申し込み
①生活習慣病相談	3月22日(月)	区内在住の5人	9時半～10時	保健師・栄養士などが個別相談。健診データをお持ちください	2月15日から直接か電話で [先着順]
②禁煙相談		区内在住の禁煙に関心のある人2人		個別禁煙相談	